

# 行政視察報告書

令和4年1月7日

長浜市議会議長 草野 豊様

長浜市議会議員

藤井 登

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

1. 視察等名 令和3年度 会派恵風会行政視察
2. 視察期間 令和4年1月6日(木)
3. 視察場所及び目的
  - ①滋賀県東近江市 ・空き家、古民家再生について
    - ・持続可能な地域づくりへの支援体制について
    - ・課題解決の取り組みについて
    - ・今後の体制づくりについて

## 4. 調査内容感想等

### ・視察の目的

長浜市でも増えてきた空き家をいかに活用し、人口増加につなげていくか。また過疎地域をいかに活気ある町に変えていくか。成功事例から学びことを目的とする。

### ・視察の内容

はじめは2020年の8月に兵庫県丹波篠山市にある「集落丸山」を訪問したとき。「集落丸山」は過疎になった地域の空き家を改修して、一棟貸しのホテル事業を運営することで、地域の再生に取り組んでいた。オープンから10年以上の実績があり、多くの方が地域再生の成功例として、視察が絶えなかったそうである。

そこで、「集落丸山」のようなことが、箕川でもできないものか!という声が上が  
り、「箕川未来会議」と題した会議で、協議を続けた。

いくつもの問題点が浮き彫りになった。皆、仕事や本業があるので、手伝えるにしても限定的である。リーダーとして働ける人、実働できる人が確保できるか。一時的に盛り上がっても、続かない活動であれば立ち上げるエネルギーが無駄になってしまふ。続く体制を組み立てる、続く道理があるか評価する。メンバーが続けたい動機を持てるか。それらの下地を整えるのは、時間とエネルギーがかかることも。

そこで、定期的な話し合いを持てたことで、メンバーの意見やアイデアが出るようになった。「人間らしい感動を味わえる里」というフレーズが生まれた。また具体的な活動計画を立て実施し、先進事例視察、物件の調査と活動計画を立て、運営体制づくりをしたとのことである。

長浜市における空き家対策についても、ホテル化するのか、定住してもらうのか。そのメリット・デメリットについても考える必要がある。定住の場合住民が増えるが、集落特有のしきたりなどでよい人間関係が築けるか。ホテルの場合、住んでいないからこそ良い人間関係が築けるともいえる。最初が肝心である。

また箕川地区の場合、民間がイニシアティブを握り、困ったときに行政に相談するというスタイルが確立できていて、常に民間主導であり続けたことが、成功に繋がったように思える。ビジョン先行で、失敗しても話し合い、くじけない姿勢、風通しの良い環境が、モチベーションに繋がっているとも感じた。

・行政視察の結果を本市議会にどのように反映させるか

今後、他市の例を参考に、よい例だけに目を向けるのではなく、失敗例を参考にすることにより課題解決の参考にしたい。また、いろいろな人の意見が聞ける風通しの良い環境

で議論ができる場を作っていきたい。

